

河北新報普及センターと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモ通信

2018年 12月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙販
【エリア】名取市内
【部数】11,600部
【電話】022(266)2991



／朝日新聞名取店 後援・
名取市教育委員会)が、名取
駅のプラザホールで8日開
催されました。

11組の親子が参加し、14
人の小学生が集まりまし
た。イベント開始を待つ間

「新聞で遊ぼう、学ぼう、
楽しもう」をテーマにした
ワークショップ「チャレン
ジわくわく子ども塾」(主
催・河北新報普及センター)

にも、子どもたちは配付さ
れた新聞を読み始めてお
り、とても明るい雰囲気の
中でスタートとなりまし
た。

参加者は、新聞を使った
クイズや新聞スクラップ、
コラムの要約などにチャレ
ンジ。親子と一緒に楽しく
学ぶ様子が見られました。
参考した佐々木雅典さん

親子で賢く新聞活用 チャレンジわくわく子ども塾



新聞を面白く読む方法、新聞記事の書き方、活用法などを学びました。新聞は子どもにも読ませておきたい」と話してください。子どもが面白いと言つてい
ました。新聞は子どもにも読ませておきたい」と話してください。子どもが面白いと言つてい
ました。新聞は子どもにも読ませておきたい」と話ください。

語らいマルシェ

18日、尚絅学院大で「語
らいマルシェ」が行われま
した。今回で4回目を迎え
るこのイベントは、学生有
志団体「ヒトノワ」が企画、
運営を行っています。商品
の売買を通じ出店者と学
生、地域の方々のコミュニ
ティの場を創りあげてい
ます。

今回のマルシェではヒト
ノワのメンバーも出店する
初めての試みがあり、「し
らす石巻焼きそば」を販売
しています。石巻焼きそ
ばの特徴である出汁を使い
ソースも後がけというスタ
イルで、最後に闊上で加工
されたしらすを上から振り
かけ提供されています。
多くの学生が「石巻焼きそ
ば」の名前を聞いたことは
ないも見受けられました。
今回初出店した「ゴーゴー
カレー」の吉田潤一店長
は「応援となる活動で
す。集客力などに課題はあ
りますが、これからも是非
続けて欲しいイベントで
す」と笑顔で語ってくれま
した。

新聞を読み、社会につい
てよく知つておくことは受
験や就活など多くの場面で
必要となります。皆さんも、
家族で一緒に新聞に触れて
みてはいかがでしょうか。
(石幡快)

発展途上国の現状を知つて

尚絅学院大では6日～8
日の3日間、環境構想学科
の学生によつて、フェアト
レード商品の販売イベント
が行われました。

フェアトレード商品販売
は、新聞の読み方講座や活
用法、新聞記事の書き方、活
用法などを派遣しています。
子供会や学校授業、PTA
の研修などにご活用ください。

河北新報普及センター
は、河北新報普及センター
ことばの貯金箱などの講師
を無料で派遣しています。
取引することによって、生
産者の持続的な生活向上を
支える仕組みです。フェア
トレード商品を販売するこ
とで多くの人にこの取り組
みや发展途上国の現状を知
つてもらうきっかけになる
ことを目的としています。
このイベントでフェアト
レード商品のチョコレート
やお茶を販売していた環境
構想学科3年の遠藤磨央さ
んは「この様なイベントを
通してより多くの人たち
に、立場の弱い发展途上国
の生産者や労働者の現状を
知つて欲しい」と話してくれ
ました。同じく庄子海斗
さんは今後の活動に対し
て、「单発的なものになら
ないよう、後輩にもフェア
トレードについて知つても
いい」と思いを語つてくれ
ました。

（菊地美里・島田千綏）

あが、食べたことはない
と、昼食に購入していま
た。

今後「語らいマルシェ」
を、学外で開催することも
視野に入れ活動するそうで
す。メンバーも増え、活動
の幅が広がってきたヒトノ
ワに期待です。(庄子貴博)



キャッチフレーズに 思いを込めて

10月1日、名取市は市制施行60周年を迎えました。

これを記念して、名取市では、「めぐってみれば、つながりナトリ」をキャッチフレーズに、様々な記念事業が実施されています。

このキャッチフレーズは、尚絅学院大の学生が作成しました。作成者は、総合人間科学部表現文化学科3年の遠藤優佳さんと鈴木彩未さんです。

2人は、仙台高等専門学校の学生2人と組織された口ゴマーク・キャッチフレーズ制作プロジェクトチームのメンバーとなり、キャッチフレーズの作成を担当しました。2人は昨年10月、尚絅学院大の教授から話を受け、プロジェクトに参加しました。それからは、名取市長や名取市役所の職員の方々と話し合い、「名取市が頭

に浮かぶ言葉」を考えていきました。また、ロゴマーク作成担当の仙台高等専門学校の学生とも、月1、2回の打ち合わせをしてキャッチフレーズとロゴマークのイメージが一致するよう

にしました。

遠藤さん、鈴木さんに、

キャッチフレーズを作成し、それが名取市各所で使われるようになつた今、改めて思うことを尋ねると

「（自分たちが作成した）キャッチフレーズを見た人が、改めて名取市を『めぐり』、その素晴らしさを感じてもらえるきっかけになければ良いと思っています」と

（石幡 快）

市制60年記念

デザインマンホール

19日に開館した名取市図書館の入り口付近に、めずらしいマンホールのふたがあ

ります。

市制施行60周年記念事業の一環で製作したデザイン

のマンホールです。

JR名取駅のコミュニティプラザで配布されている

「マンホールカード」によるとデザインの由来は「名

取市の市花ハナモモと閑上の海を背景にした市木クロ

マツのデザインで、江戸時

代仙台藩により植えられ、



サケ故郷の川を上る 市民ら遡上観察

10月28日、名取市を流れ

る増田川でサケの観察会

（主催・キラキラパルク増

田西、協賛・増田西公民館）

が行われました。

観察会には公民館が開く

「おせでください！おんち

ラパルク増田西伊藤宗男会

ども体験」に参加する15人

やんおばちゃんわくわく子

の小中学生を含む55人が参

加しました。

開催のあいさつでキラキ

田川沿いを歩き、散策途中

元気よく川を上るサケや産

卵を終え力尽きサケが流さ

れる様子を観察しました、

サケを見つけると子どもた

ちから「あそこにいる、あ

そこにも」と大きな声が聞

こえました。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな

姿を残しています。トリの

モチーフは、2018年に

市制施行60周年を迎える

記念に、還暦に希望のヒナ

として生まれ変わり、成長

する願いを込め地元の学生

達が創作しました。どちら

も節目の年のシンボルとな

っています」と説明されて

います。

長は「増田川を力強く上り

産卵するサケの感動的な姿

を見てほしい」と挨拶しま

した。

参加者は集合場所の増田

西公民館から高館までの増

モチーフは、2018年に

震災による閉上の被災後

も、変わらずその大らかな